

様式2 平成29年度新座市学校評価システム

自己評価書【中間評価】

凡例	A: 9割以上の達成状況である。かなり高いレベルできている。 B: 6割以上9割未満の達成状況である。概ね規準に達している。 C: 2割以上6割未満の達成状況である。規準には達していない。 B・Dの間の評価。 D: 2割未満の達成状況である。ほとんどできていない。
----	--

新座市立 石神小 学校

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状況										評価ポイント (1~4点)	評価
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%		
基礎学力の定着・授業の工夫	1	学校は習熟度に応じた指導や、個別指導補充的な学習を行い、児童の基礎的学力を定着させるよう組織的に実践している。											3.13	B
	2	学校は「反復横跳び・20mシャトルランの記録向上」を目指し、児童の体力が向上するよう、授業や休み時間などの取組を工夫し、実践している。											3.04	B
	3	学校は家庭での学習を定着するよう、各学年の発達段階に応じた家庭学習を提示し、基礎学力の定着を図っている。											3.38	B
組織運営	4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。											3.21	B
	5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。											3.04	B
	6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう。危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。											3.29	B
学力向上	7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。											3.25	B
	8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。											3.13	B
	9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。											3.08	B
	10	学校は、英語(英会話)の授業を充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。											3.25	B
豊かな心の育成	11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し成果をあげている。											2.88	B
	12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。											3.25	B
	13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。											3.08	B
の健康・体力向上	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。											3.08	B
	15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。											3.33	B
と保護者・協働・地域	16	学校は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。											3.42	A
	17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。											3.21	B
	18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。											3.38	B